

資料2. 日本版 DRP 分類表

項目	カテゴリ	サブカテゴリ	説明
原因	C1 処方せん	C1.1 禁忌・注意（病態・身体状況と薬）	処方せんに記載されている薬が、患者の病態や身体状況（糖尿病、腎機能低下、妊娠、薬剤アレルギーなど）に対して禁忌または注意が必要である。 ※類似項目として「C1.2 併用禁忌・注意（薬と薬）」、「C4.9 薬と飲食物・嗜好品の相互作用」がある。
原因	C1 処方せん	C1.2 併用禁忌・注意（薬と薬）	処方せんに記載されている薬の組み合わせが禁忌、または注意が必要である（シロップや外用薬の配合不適や注意を含む）。 ※薬と相互作用のある飲食物・嗜好品を摂取している場合は「C4.9 薬と飲食物・嗜好品の相互作用」に分類する。
原因	C1 処方せん	C1.3 適応外（承認外）処方	処方せんに記載されている薬が、承認されている効能・効果・用法・用量、または承認された処方日数を超過して処方されている（新薬・麻薬・向精神薬などの処方日数制限を含む）。
原因	C1 処方せん	C1.4 同効薬の重複	処方せんに記載されている薬に効能や効果が重複している薬が含まれている。 ※飲み間違いや過量服用の結果として起こる同効薬の重複は該当しない。
原因	C1 処方せん	C1.5 必要性が疑われる処方	処方せんに記載されている薬に漫然投与の疑いがある、または現在の病状に対して必要がない可能性がある（必要な予防処方は除く。ポリファーマシー解消のための疑義や、誤入力疑われる処方の疑義を含む）。 ※残薬が原因で処方が必要なくなった場合は「C4.8 残薬問題」に分類する。
原因	C1 処方せん	C1.6 推奨薬以外の選択	処方せんに記載されている薬が、ガイドラインや指針で推奨されている薬以外である（根拠不明で第一選択薬以外が処方された場合を含む）。 ※必要と思われる薬が処方されていない場合は「C1.7 処方漏れ」に分類する。
原因	C1 処方せん	C1.7 処方漏れ	必要と思われる薬が処方されていない（治療計画から漏れている薬がある、定期処方から漏れている薬がある、患者から処方されるはずの薬がないと申し出があった場合を含む）。
原因	C1 処方せん	C1.8 記載不備	薬の処方はあるが、剤形・用法・用量・規格・日数・指示などの記載に不備がある、または未記載（隔週や隔日製剤の指示に誤りがある、粉碎不可の薬に対して粉碎指示がある、次回診療予約日に対して処方日数が足りない場合を含む）。 ※残薬が原因で処方日数が変更になる場合は「C4.8 残薬問題（過量、過少）」に分類する。
原因	C2 調剤	C2.1 薬剤流通不足	処方せんに記載されている薬が入手できない（入手可能だが当該薬局や近隣薬局に在庫がない場合を除く）。
原因	C2 調剤	C2.2 処方せんの期限切れ	処方せんの有効期限が切れている。
原因	C3 服薬介助者	C3.1 服薬介助者による飲ませ忘れ	服薬介助者が患者に薬を飲ませることを忘れる。

項目	カテゴリ	サブカテゴリ	説明
原因	C3 服薬介助者	C3.2 服薬介助者による飲ませ間違い	服薬介助者の勘違いにより誤った薬や誤った用法・用量で薬を飲ませる。 ※服薬介助者が意図的に用法や用量を変更した場合は原因に応じて「C3.3 服薬介助者の判断による服薬中止・減薬」、「C3.4 服薬介助者の判断による増量」に分類する。
原因	C3 服薬介助者	C3.3 服薬介助者の判断による服薬中止・減薬	服薬介助者の判断で服薬を中止、または減量する。
原因	C3 服薬介助者	C3.4 服薬介助者の判断による増量	服薬介助者の判断で指示された量を超えて薬を服用させる。
原因	C3 服薬介助者	C3.5 服薬介助者による服用経路の間違い	服薬介助者が誤った服用経路で薬を飲ませる、または使用する（舌下錠や吸入用カプセルをそのまま服用させる、吸入器や注射薬の使用法に誤りがあるなど）。 ※服用経路は正しいが用法用量に間違いがある場合は「C3.2 服薬介助者による飲ませ間違い」に分類する。
原因	C3 服薬介助者	C3.6 服薬介助者による不適切な保管方法	服薬介助者が不適切な方法で薬を保管している。
原因	C3 服薬介助者	C3.7 服薬介助者の意向や生活環境・経済的要因による問題	服薬介助者の事情により服薬の介助が困難である、または服薬介助者が考える服薬問題がある（服薬介助者の時間的制限により1日3回よりも1日1回を希望している場合など）。 ※類似項目として「C4.7 患者の意向や生活環境・経済的要因による問題」がある。
原因	C4 患者	C4.1 飲み忘れ	患者が薬の服用や外用薬の使用を忘れる（認知機能低下が原因の飲み忘れを含む）。 ※患者の勘違いにより誤って少ない用法・用量で服用している場合は「C4.2 飲み間違い」に分類する。
原因	C4 患者	C4.2 飲み間違い	患者の勘違いにより誤った薬や誤った用法・用量で薬を服用、または外用薬を使用している（認知機能低下が原因の場合を含む）。 ※患者が意図的に用法や用量を変更した場合は、原因に応じて「C4.3 患者の自己判断による服薬中止・減薬」、「C4.4 患者の自己判断による増量」に分類する。
原因	C4 患者	C4.3 患者の自己判断による服薬中止・減薬	患者が自己判断で薬の服用や外用薬の使用を中止する、または少ない量で使用している。 ※患者の勘違いにより誤って少ない用法・用量で服用している場合は「C4.2 飲み間違い」に分類する。
原因	C4 患者	C4.4 患者の自己判断による増量	治療目的のために患者の自己判断で処方用量を超えて薬を服用、または外用薬を使用している。 ※同効薬の重複処方の結果として起こった過量使用は「C1.4 同効薬の重複」に分類、本来の治療目的とは異なる理由で意図的に過量使用している場合は「C4.11 薬物乱用」に分類する。
原因	C4 患者	C4.5 服用経路（投与経路）の間違い	患者が誤った投与方法で薬を服用、または使用している（舌下錠や吸入用カプセルをそのまま服用している、吸入器や注射薬の使用法に誤りがあるなど）。 ※服用や使用経路が正しいが用法用量に間違いがある場合は「C4.2 飲み間違い」に分類する。

項目	カテゴリ	サブカテゴリ	説明
原因	C4 患者	C4.6 不適切な保管方法	患者が不適切な方法で薬を保管している。
原因	C4 患者	C4.7 患者の意向や生活環境・経済的要因による問題	患者の生活環境や経済状況により薬を使用することが困難である、または患者の要望がある（小児の服薬アドヒアランス向上のための後発品への変更、患者が好むフレーバーへの変更を含む）。
原因	C4 患者	C4.8 残薬問題（過量、過少）	残薬問題（過量、過少）が生じている（受診間隔が処方日数より短い状態が続いていたり、外用薬や頓服薬の使用頻度が減少したりしていることに起因する残薬過多も含む）。
原因	C4 患者	C4.9 薬と飲食物・嗜好品の相互作用	薬と相互作用のある飲食物・嗜好品を摂取している。 ※類似項目として「C1.1 禁忌・注意（病態・身体状況と薬）」、「C1.2 併用禁忌・注意（薬と薬）」がある。
原因	C4 患者	C4.10 身体的な機能制限による服用困難	嚥下困難、視覚障害、可動域の制限などの身体的な機能制限により、薬を正しく服用または使用することが困難である。
原因	C4 患者	C4.11 薬物乱用	患者が治療以外の目的で薬を服用している。 ※治療目的のために意図的に処方された用量を超えて薬を服用している場合は、「C4.4 患者の自己判断による増量」に分類する。
提案内容	C5 モニタリング	C5.1 副作用発現の疑い	副作用が疑われる症状がある。 ※現時点では症状がないが、将来的に副作用が起きる可能性がある場合はここには含めず、他の項目を検討すること。
提案内容	C5 モニタリング	C5.2 不適切な検査の頻度	病状確認、治療効果の確認、副作用モニタリングのための検査の頻度が適切ではない（検査が実施されていない、頻度が少なすぎる、または多すぎる場合を含む）。
提案内容	C6 その他	C6.1 その他	上記のカテゴリに該当しない場合
提案内容	I1 薬剤変更		薬の変更を提案した（合剤への変更を含む）。 ※同一成分内での変更は、提案内容に応じて「I4 用法用量日数等の変更（例：クラビット錠 500 mgからクラビット錠 250 mgへ変更）」や「I5 剤形変更（例：クラビット錠 500 mgからクラビット細粒 10%）」に分類する。
提案内容	I2 薬剤追加		薬の追加を提案した。
提案内容	I3 薬剤削除		薬の削除を提案した。
提案内容	I4 用法用量日数等の変更		用法・用量・コメント・指示・日数・規格の変更・追加・削除のいずれかを提案した。 ※粉碎指示への変更は「I5 剤形変更」に分類する。
提案内容	I5 剤形変更		剤形の変更を提案した（粉碎を含む）。 ※剤形の変更提案ではなく、経済的な理由や嚥下困難による規格の変更提案（嚥下困難のためムコダイン 500mg1錠→250mg2錠に変更など）は「その他」に分類する。
採択	I6 服用支援方法の変更		服薬支援方法の変更を提案した（一包化への提案を含む）。

項目	カテゴリ	サブカテゴリ	説明
採択	I7 その他		上記のカテゴリに該当しない場合。
採択	I8 報告のみ		医療連携のために必要な情報を多職種へ提供した（代替薬への提案を行わず、併用禁忌や注意の事実のみを報告した場合を含む）。
採択	A1 採択（一部採択）		提案した内容が全てまたは一部採択された（服用中止を提案したが、減量に変更された場合を含む）。
結果	A2 非採択		提案した内容が採択されなかった。
結果	A3 その他		上記のカテゴリに該当しない場合。
結果	A4 該当なし（報告のみのため）		多職種への情報提供のみで提案はしていないため採択有無は該当しない。
結果	O1 薬剤変更		薬が変更になった（合剤への変更を含む）。
結果	O2 薬剤追加		薬が追加された。
結果	O3 薬剤削除		薬が削除になった。
結果	O4 用法・用量・日数・規格等の変更		用法・用量・コメント・指示・日数・規格が変更になった（頓服薬や外用薬の数量変更を含む）。
結果	O5 剤形変更		剤形が変更になった（粉砕を含む）。
結果	O6 服用支援方法の変更		服薬支援方法が変更になった（一包化への変更を含む）。
結果	O7 検査の実施・延期		検査に関わる変更があった（検査の実施、予定していた検査の延期、検査項目の追加などを含む）。
結果	O8 その他		上記のカテゴリに該当しない場合。
結果	O9 変更なし		処方や服用支援方法の変更はなかった。